

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

据付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

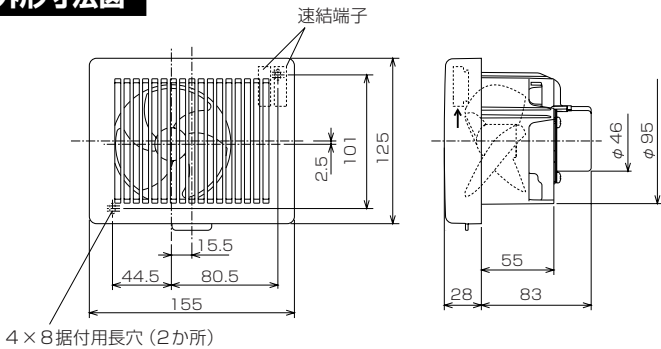
- 電気工事は電気工事の方が実施してください。
- この製品は居室・トイレ・洗面所に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因になります。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材 (ウェザーカバーなど) を据付けてください。
- 雨水浸入防止のため外風の吹き付けの強い場所では風圧シャッター付深形フードを据付けることをおすすめします。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。

形名	グリル形状	電源仕様	適用パイプ	付属部品
V-08PYD6	角形格子グリル	速結端子	●塩化ビニル管 …VP、VU (呼び径100mm) ●銅板管 (内径100mm)	●木ネジ …2本

- お願い**
- 高温 (40℃以上) になるところに据付けしないでください。(故障の原因になります)
 - 塩害、温泉害の発生している場所には据付けしないでください。(故障の原因になります)
 - アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。(振動の原因になります)
 - システム部材 (ウェザーカバーなど) は壁厚にあったものを選んでください。(壁厚により取付けられないものがあります)
 - 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
 - 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

安全のために必ず守ること ⇒ 梱包箱を確認ください

外形寸法図



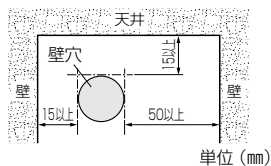
据付方法

- 注意**
- 湿気の多い場所 (浴室及びシャワー付洗面台・衣類乾燥機などの湿気が直接当たる場所)、結露する場所には据付けない (感電・故障の原因になります)

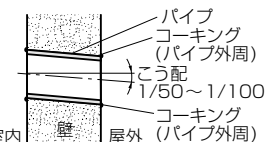
1.据付け前の準備

壁据付けの場合 (壁穴へのパイプの固定)

1. 据付け場所を決めて穴をあける。
 - 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
 - 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。



2. 壁穴にパイプを確実に固定する。パイプと壁のすき間はコーキング処理をします。



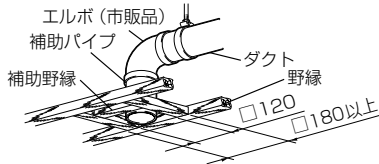
- 電源電線を室内に引き込んでから ([2.電気工事] 参照) 行ってください。
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込んでください。

- お願い**
- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこご配をつけ、固定してください。

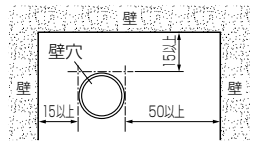
※パイプは壁面より室内側に出ないようにしてください。

天井据付けの場合 (野縁組立てとダクト配管)

1. 下図のように野縁組立てをし、ダクト配管をする。

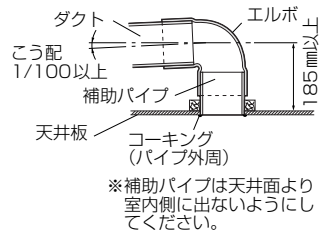


- お願い**
- 補助パイプが壁から上図の位置になるようダクト配管を行ってください。



単位 (mm)

2. ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板をはる。
3. エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。パイプと天井のすき間はコーキング処理をします。



※補助パイプは天井面より室内側に出ないようにしてください。

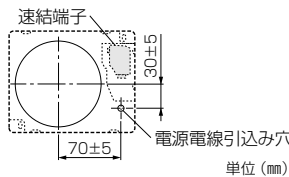
- お願い**
- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/100以上の下りこご配をつけてください。
 - 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。

2.電気工事

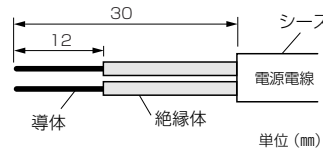
- 警告**
- 交流100Vを使用する直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。
- 注意**
- 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。接続不良や誤った電気工事は、感電・火災の原因。
 - 電気工事は電気工事店に依頼する感電の原因。

- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定して結線してください。

1. 電源電線を下図の位置から室内に引き込む。
 - 電源電線はVVF φ1.6、φ2.0 2芯をご使用ください。
2. 電源電線の先端を下図に合わせて皮むきする。
 - 端子部への水・ほこりの浸入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。



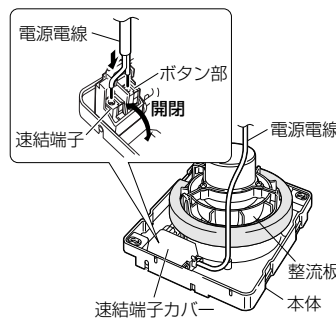
単位 (mm)



単位 (mm)

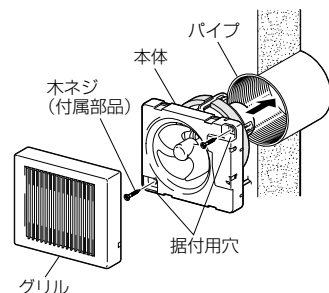
3.本体の据付け (壁据付け・天井据付けともに同様の据付けかたです)

1. 本体からグリルをはずす。
2. 電源電線を速結端子に差し込む。
 - ①速結端子カバーを図のように開ける。
 - ②電源電線を速結端子に差し込む。
 - ③確実に速結端子カバーを元通り閉じる。



- お願い**
- 電源電線の皮むき部分は確実に速結端子に差し込み、端子より出ないようにしてください。
 - 電源電線は軽く引っ張って速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
 - 電源電線は本体面に密着させて配線してください。
 - 電源電線を速結端子よりはずす場合は、ボタン部を押しながら電源電線を引き抜いてください。

3. 本体を固定する。
 - 本体の上下を確認して本体をパイプに差し込み、付属の木ネジ2本で本体を固定する。
 - 左右の据付用穴をご使用ください。
 - 石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。



- お願い**
- 整流板が本体からはずれないように注意してください。(羽根あたりの原因になります)
4. グリルを本体に据付ける。
 - グリルの方向を間違えないよう本体に据付けます。

5. 以上の据付けが終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。

6. 試運転を行う。
 - 換気扇が運転・停止するかを確認してください。(整流板が本体からはずれている場合は、整流板を本体に据付け直してください)
 - 異常な音・振動などがなければ確認してください。